

# 2月の園だより

## 《園長の言葉》

平成29年度 竜光保育園 第632号

まもなく節分を迎え、暦の上では春となりますが、今年の冬はまだまだ厳しい寒さが続きそうです。大流行しているインフルエンザ等の感染症予防には更なる注意をはらいながら、子どもたちとともにウイルスに負けない元気な身体作りに努めていきたい所存です。

さて、来たるべき3月の芸術劇場大ホールにて開催される、年長組さん出演の《幼児音楽祭》の練習にも徐々に熱が入ってきました。毎年の課題曲は、外部講師かもしくは園側がピックアップしアレンジした数曲を、子どもたちに聞かせて最も反応が良かった曲を原則的に採用しています。(※ちなみに、各楽器の担当(パート)は、毎年、リズム感等の適正を見て決めています。)今年度採用した楽曲は、生活発表会でも聴いて頂きましたが、星野源さんの「SUN」です。軽快なポップ調で世代を超えて受け入れられている曲だと思いますが、つい先日、この曲が作られるに至った背景を知りました。それは、星野さんご自身の「くも膜下出血」という大病からの再生と、以前から人生の支えとなっていた故「マイケル・ジャクソン」への感謝と敬愛を表した曲であったのです。歌詞のワンセンテンス毎に説明することはできませんが、題名の「SUN」=マイケルへの敬愛であり、そして星野さんの復活とリスタート、その喜びを歌詞に綴りメロディーに乗せた作品です。今、この曲の思いを子どもたちが理解するのは難しいでしょう。しかし、私たちもそうであったように、いずれ成長の過程で、かつて出会った音楽をふりかえることがあり、その時初めてその曲の意味を知ることとなり、感慨深げな心持ちになる事もあるのではないのでしょうか。

あるポスターに「音楽はあったかい言葉になる。」という言葉がありましたが、音楽は、国や世代、時代を超えて私たちにたえず励まし、心を豊かにしてくれます。そんな音楽に1つでも多く出遭い大切にしてほしいな、その時の思い出とともに…。ただ演奏をマスターするのではなく、音楽祭の体験を通して、音楽の楽しさ、素晴らしさを子どもたちに伝えていけたらと思うばかりです。

## 《先生の広場》 vol.10 こだま ちあき 先生



- ☆Q.1 好きな食べ物は?  
A. 甘いお菓子が大好きです。
- ☆Q.2 行ってみたい場所は?  
A. ディズニーが大好きなので、フロリダやカリフォルニア、パリのディズニーランドに行きたいです。
- ☆Q.3 好きな芸能人は?  
A. 三代目J Soul BrothersとEXILEです。
- ☆Q.4 保育士になった理由は?  
A. 年の離れた弟の世話をしていく中で、子どもに関わる仕事がしたいと思ったので。

## 2月の行事予定

- 3日(土) 節分
- 6日(火) 体操教室
- 15日(木) 身体測定
- 16日(金) 誕生会
- 17日(土) 作品展・保育参観・講演会
- 20日(火) 体操教室
- 中旬 避難訓練
- \*3月18日(日) 卒園式

“緑茶うがい” 毎日頑張っていますよ!



卒園製作のお皿作り

書道教室

“雪うさぎ” 作ったよ!

色とりどりの水を凍らせ、クラッシュして遊んだよ。きれいだなあ~!



かるた会



積もった雪に大はしゃぎ!

## クラスだより

**さくら組**  
厳しい寒さが続く中でも、みんなで植えたチューリップがかわいい芽を出してきました。室内では、カルタを読み合ったり、新道寺小学校から頂いた“どんぐりごま”で競い合ったりする遊びが大流行! 今月は、作品展に向けての廃材を使った製作や音楽祭に向けての合奏を、楽しみながら取り組んでいきたいと思ひます。

**うめ組**  
今年度も残り2カ月となり、子どもたちも年長クラスになる事を少しずつ意識するようになってきました。カルタやトランプ遊びを通して、文字や数にもいっそう興味を示しているようです。作品展に向けても、自分のイメージを上手く表現出来るようになる等頑張る姿が見られます。体調に十分に気を付けて元気に過ごしたいと思ひます。

**もも組**  
最近では、感染症予防の“緑茶うがい”や手洗いも身に付いてき、寒いこの時期でも元気に過ごしています。集団遊びでは、ルールのあるものを楽しめるようになり、順番を守ったり譲ったりする姿も見られます。遊びの中において、子どもたちが相手の思いに気づき、自分の思いが伝えていけるような関わりを心がけていきたいと思ひます。

**たんぽぽ組**  
雪が降ってきたのを見つけ、『雪のペンキ屋さん』を歌ったり、「雪だるまを作ろう!」と大喜びするなど、寒さにも負けず元気いっぱいの子もたちです。風邪やインフルエンザの予防に十分配慮しながら、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

**すみれ1歳児組**  
まだまだ寒い日が続いていますが、雪を見ると「ゆきだ!ゆきだ!」と元気いっぱいな子どもたち。雪に触れたり遊具にできた氷柱を眺めたり、冬ならではの遊びを楽しんでいます。それぞれが、1人で出来ることも増えてきたように感じています。これからも子どもたちの“やってみよう”という気持ちを大切にしながら、楽しく過ごしていきたいと思ひます。

**すみれ0歳児組**  
子どもたちは、“オマル”に座って排泄に成功したり、自分でズボンを履こうとしたり、手を洗う前に自分で袖口をまくったりと、色々なことに挑戦し、日々成長しています。雪の日にはバケツに雪を集めて、保育室で触ってみたり、冬の自然を感じさせています。寒さも厳しくなりますが、体調に気を付け元気に過ごしていきたいと思ひます。